



川嶋 渉 京都市立芸術大学 理事・副学長・美術学部美術研究科 教授

1966 年京都府生まれ。京都精華大学 芸術学部造形学科日本画専攻卒業後、京都を拠点に制作を続ける日本画家。日本画家や書家の家系に育ち、幼少期から美術品や本物の画材に親しんだ経験を背景に、岩絵具や膠、墨、硯、筆、和紙などの素材そのものの徹底した探究を重ねる。日本画特有の素材を活かした技法で、日本で独自に発展してきた花鳥画を「距離」と「時間」に着目し、更なる展開を試みて来た。最近では、物質への意識が自然と画法を生むという考えのもと、墨を「粒であり波である」と捉えた作品を精力的に発表している。日展会員賞、京都美術文化賞をはじめ、京都府文化賞功労賞など数々の受賞歴を持つ。